

施策番号	0703
施策名	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）
概要	多様化する要望にこたえて、スポーツ施設の柔軟な運営と良質なサービスの提供を行うほか、スポーツを支えるしくみづくりや、スポーツを支える組織の人材確保・育成を進める。
担当局・部室	文化市民局・市民スポーツ振興室
共管局・部室	
上位政策	7 スポーツ
施策に関係する主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画

施策の評価

1. 客觀指標評価

指標名	28年度	29年度	30年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1 市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数(人)	a	b	9,528	9,244	9,708	95.2%	b	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	
	a	b	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	28年度	29年度	30年度回答						
			そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと 言うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1 スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動を、スタッフやボランティアとして支えるひとが増えている。	c	c	30	145	178	73	22	448	c
			6.7%	32.4%	39.7%	16.3%	4.9%		
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
			c	c	市民生活実感調査総合評価				

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					29 年度	C		
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	b	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c				
(重み付けの理由) スポーツ活動の支え合いが身近に感じられることが重要であるため、市民の実感を重視する。									
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・市民のボランティア参加に関する情報提供やPRが十分とは言えないため、前年度に引き続きc評価になったと考えられる。									
(原因分析)市民生活実感調査総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・市民のボランティア参加に関する情報提供やPRが十分とは言えないため、前年度に引き続きc評価になったと考えられる。									

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	スポーツ推進委員	22,305	25,128	普通	文化市民局
2	全京都大学野球トーナメント大会	3,513	3,536	良い	文化市民局
3	体育振興会事業助成	20,627	25,586	良い	文化市民局
4	国体派遣補助	1,337	1,337	普通	文化市民局
5	競技スポーツ強化振興事業	5,148	6,169	良い	文化市民局
6	京都マラソン	212,923	267,440	良い	文化市民局
7	スポーツウェブ京都・スポーツリエゾン京都	2,823	2,287	普通	文化市民局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・市民スポーツフェスティバル、京都マラソン2019等を通じて、大会を支えていただくボランティアの増加を図るとともに、大会をきっかけとしたスポーツの魅力やボランティアの意義を発信することにより、各種スポーツ関係団体や企業、大学、NPOなどと連携協力し、「支えるスポーツ」の更なる振興を目指す。

施策名	0703	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）																			
指標名	市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数(人)																				
担当課	市民スポーツ振興室	連絡先	3 6 6 - 0 1 6 9																		
1 指標の説明	市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数																				
2 指標の意味	市主催のスポーツ事業において市民の間でスポーツ活動を支え合う動きが活発化する状況を示す指標（支えるスポーツ）		3 算出方法・出典等	出典：事業担当課調べ																	
4 数値	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>前回数値</th> <th>最新数値</th> <th rowspan="2">推移</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>数値</th> <th>根拠</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td>9,528</td> <td>9,244</td> <td>284人減少</td> <td>9,708</td> <td>23年度現況値（9,126人）と32年度目標値（10,000人以上）から各年度の目標を等差的（97人増/年）に算出</td> <td>95.2%</td> </tr> </tbody> </table>					前回数値	最新数値	推移	目標値	28年度	29年度	数値	根拠	達成度	数値	9,528	9,244	284人減少	9,708	23年度現況値（9,126人）と32年度目標値（10,000人以上）から各年度の目標を等差的（97人増/年）に算出	95.2%
	前回数値	最新数値	推移	目標値																	
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度															
数値	9,528	9,244	284人減少	9,708	23年度現況値（9,126人）と32年度目標値（10,000人以上）から各年度の目標を等差的（97人増/年）に算出	95.2%															
	全国順位	中長期目標			備考																
数値		数値	目標年次	達成度		根拠															
数値		10,000人以上	32年度	92.4%	多くの市民ボランティアが参加する京都マラソンを開始した平成23年度の現況値9,126人から約10%増の10,000人以上の参加を目標とする。																
5 評価基準	最新数値の目標値に対する達成度が a:100.0%以上 b:90%以上～100%未満 c:80%以上～90%未満 d:70%以上～80%未満 e:70%未満		6 基準説明 当該指標については、目標値以上を達成したときをaとし、以下10%刻みで基準を設定した。																		
7 評価結果	28	29	30	a	b																